

「トンネル点検の現地講習会」を開催しました

～富山県道路メンテナンス会議～

道路施設の老朽化対策の一環として、富山県道路メンテナンス会議では、県内市町村職員の技術力向上を目的に、トンネル点検の現地講習会を開催しました。

講習会は、平成26年度に策定された自治体向けの「道路トンネル定期点検要領」に基づき、自治体職員自らが点検を体験し、点検のポイントを確認しました。

講習会開催状況

- 開催日：平成29年11月17日(金)
- 場所：国道160号 氷見トンネル(上り)
- 参加状況
富山県8名、富山市1名、高岡市2名、氷見市1名、黒部市1名、南砺市2名

講習内容

- トンネル本体及び附属物の点検概要説明
- 路面点検及び変状スケッチ（実技）
- 高所作業車を使用した点検（実技）
 - コンクリート部の近接目視点検及び打音点検
 - 附属物の近接目視点検及び打音点検、触診



点検概要の説明



高所作業車による近接目視点検

講習会実施後のアンケート結果

- 維持管理について基本的な知識委が得られ、実技も有意義だった。
- 概ねの作業時間が分かり良かった。
- 点検の実技は貴重な経験であり、多くの発注者が経験した方が良い。
- 新しい技術としてタブレットを用いた点検の紹介があり、作業中の情報共有ができることは非常に効率的だと思った。
- 補修方法や材料等も聞いたかった。